

2022年2月22日(火曜日)の朝日新聞に 「自宅療養者への支援」について掲載されました!

自宅療養者に ふっくら缶詰パン

那須塩原「パン・アキモト」が無償提供

ふっくらしたパンが詰まった缶詰「救缶鳥」を新型コロナウイルス感染症の自宅療養者らに食べてもらおうと、那須塩原市の「パン・アキモト」が無償提供を始めた。自宅療養者に備蓄食料を提供する自治体に、災害備蓄用の缶詰を送っている。

新型コロナウイルス

救缶鳥は阪神大震災をきっかけに開発した。3年以上保存できる。専務の秋元信彦さん(42)が、自宅療養者に自治体が非常食を提供しているというニュースを見て、缶詰の提供を思いついた。

各地の自治体などに聞いたところ、大田原市や那須塩原市、県、新潟県新発田市、横浜市港北区医師会が救缶鳥を希望。それぞれ390〜5571缶を提供した。同社は災害用に備蓄する企業などの救缶鳥を賞味期限の半年前に回収し、食糧支援を求める途上国に送るプロジェクトに取り組み、今回、その回収分を活用する。

秋元専務は「希望する自治体があれば、できるだけ対応したい」と話した。

パンの缶詰「救缶鳥」 那須塩原市東小屋

(小野智美)

